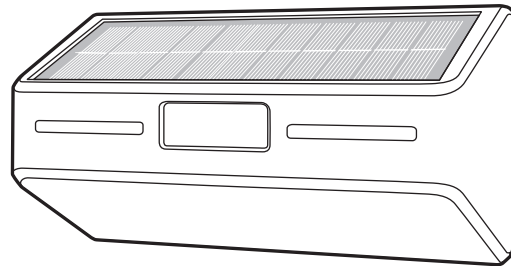


ソーラー式 LEDセンサーウォールライト

品番

ESL-KF500SL



お客様へのお願い

この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は大切に保管し、必要なときにお読みください。

本品は強盗、盗難、空巢などの被害を未然に防ぐことを保証するものではありません。
万一、被害などが発生しましても当社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。

ご使用前に!

必ず初期充電を行ってください

内蔵の充電電池は製造時に十分充電しておりますが、充電電池の特性上自然放電しますので、商品お買い上げ時には放電している場合があります。

ご購入後は必ず晴天の日に2日間以上充電してから使用開始してください。

※充電は点灯モード切替スイッチをOFFにして行ってください。

※充電確認ランプで充電が正常に行われていることを確認してください。(詳細は「各部の名称と付属品」を参照してください。)

- ①本体の点灯モード切替スイッチをOFFにします。
※ライトが点灯しない状態で充電します。
- ②ソーラーパネル部に直射日光が長い時間当たる場所を選んで仮設置し、2日間以上充電してください。※季節、日照時間、天候、地域により異なります。

点灯時間が短くなったり、点滅したり、点灯しなくなった場合には初期充電を行ってください。

1 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。



警告

この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示します。



注意

この表示の注意事項を守らなかった場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を表示します。

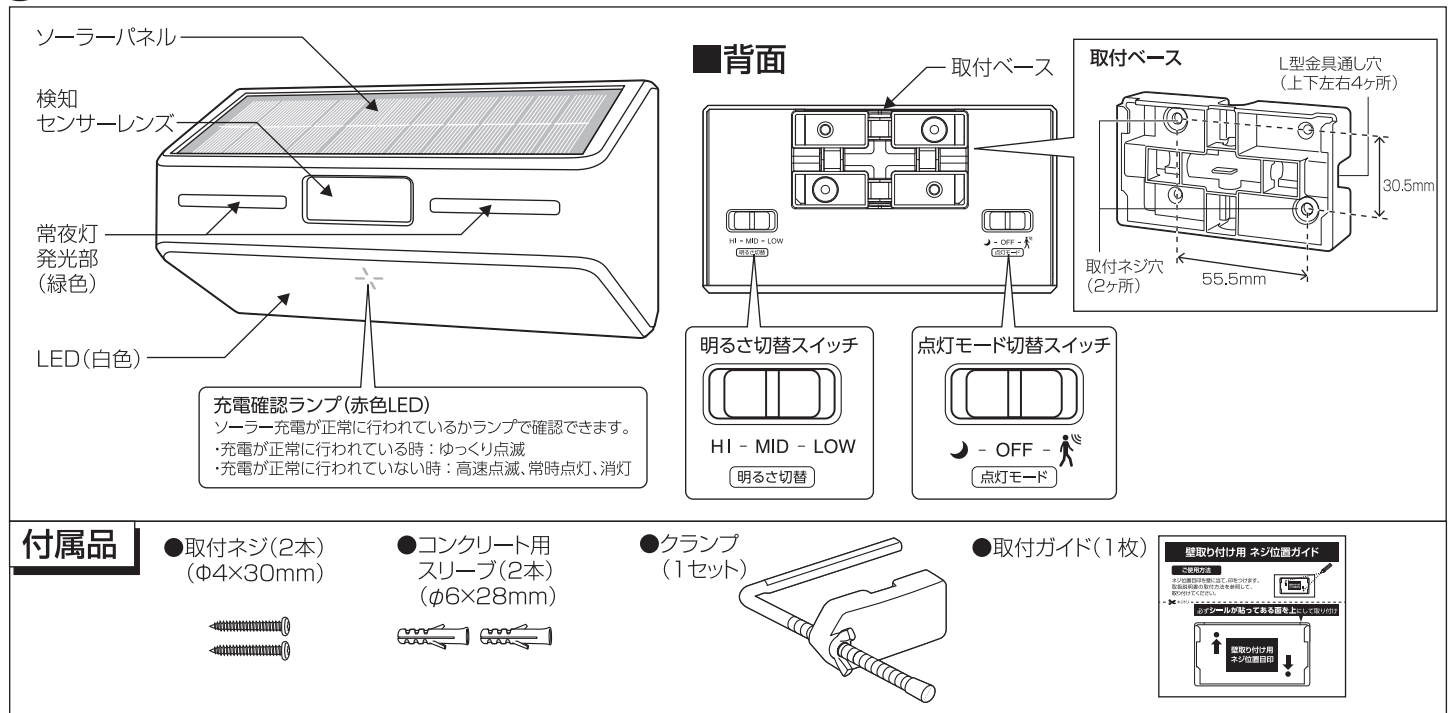
警告

- 取り付けは、この取扱説明書に従って確実に行ってください。
- 点灯中や消灯直後は、本体が熱くなっている場合がありますので触らないでください。
- 燃えやすい物や引火しやすい物の近くには設置しないでください。
- 本品は完全防水ではありませんので、水中で使用しないでください。
※本品はIP65電気機械器具の保護等級に適合します。
- 正面から見て本体が地面に対して斜めになったり、逆さまになるような取り付けをしないでください。検知機能に異常をきたす原因となります。
また万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。
- 視力を損なうおそれがありますので点灯中のライトを直視しないでください。
- 分解・改造はしないでください。また、指定用途以外での使用や、指定外の取付部品を使用しないでください。

注意

- 充電電池の交換はできません。
- ソーラーパネルが極端に汚れると充電能力が低下することがあります。定期的に点検、清掃を行ってください。
- 曇りの日が続いた場合などは、再度初期充電が必要になることがあります。
- 極度の低温下では充電電池の充電能力が低下する場合があります。
- 温度の高くなるもの(ガス機器やその排気口、エアコン室外機)の近くには取り付けしないでください。
- 本品をベンジンやアルコール、シンナーで拭いたり、殺虫剤を吹きかけないでください。変色、変形、ひび割れのおそれがあるほか、引火、感電の原因となります。
- 不安定な場所に取り付けしないでください。落下などによるけがや火災の原因となります。取り付け後、しっかり固定されているか必ず確認してください。

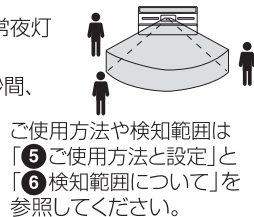
2 各部の名称と付属品



3 まず初めに

⚠ **設置を行う前に各機能が正しく動作するか、周囲が暗い状況で動作確認を行ってください。**

①点灯モード切替スイッチをセンサーモードまたは常夜灯モードに設定してください。
ウォームアップ(初期安定動作)が開始され約10秒間、ライトが点灯します。
この間ライトは点灯したままになりますので、検知範囲外に離れてお待ちください。



②消灯後、検知範囲を横切るように歩き、ライトが点灯することを確認します。
続いて検知範囲外へ移動すると約10秒後にライトが消灯することを確認します。

4 設置場所

⚠ **取り付ける前に、充電電池への初期充電および動作確認を必ず行ってください。**

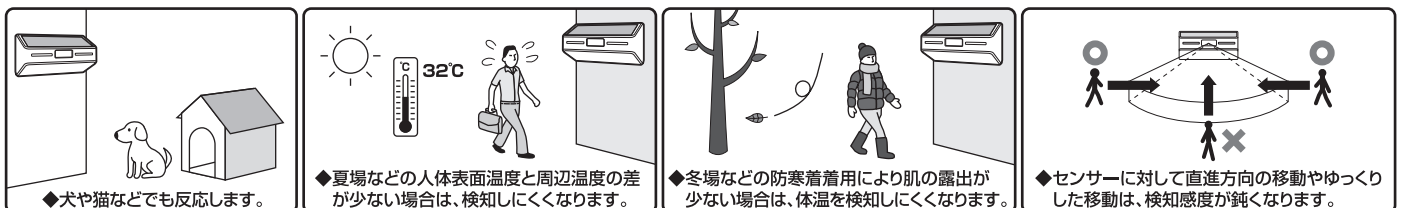
取り付け上のご注意

※センサーは周囲の明るさと温度変化を検知します。

下図のような場所に取り付けると誤動作したり、動作しない場合があります。



センサーの特性上、以下の点にご注意ください。



5 ご使用方法と設定

ご使用方法

①点灯モード切替スイッチを切り替えます。

OFF : 電源OFF

人 : センサーモード

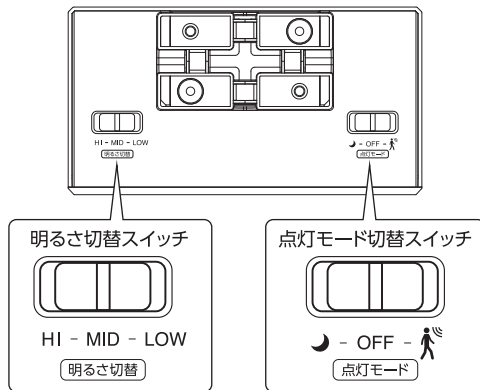
月 : 常夜灯モード

②明るさ切替スイッチを切り替えます。

HI : 明るさ 約100%

MID : 明るさ 約50%

LOW : 明るさ 約25%



点灯モードの設定

※センサーの検知範囲内で人や動物が動き続けると、センサーが再検知し点灯時間は延長されます。

※常夜灯が点灯しない日が続く場合は、充電が不足していますので、電源OFFまたはセンサーモードに切り替えて充電してください。

人 センサーモード

周囲が暗い時に人を検知すると設定した明るさで自動で点灯(白色)し、約10秒後に自動で消灯します。

月 常夜灯モード

周囲が暗くなると自動で常夜灯(緑色)が点灯し、人を検知すると設定した明るさで点灯(白色・緑色)します。約10秒後に自動で常夜灯(緑色)のみの点灯に戻ります。周囲が明るくなると自動で消灯します。

暗い時に人が近づくと設定した明るさで点灯(白色)



暗くなると常夜灯(緑色)



人が近づくと設定した明るさで点灯(白色・緑色)



約10秒後に常夜灯(緑色)



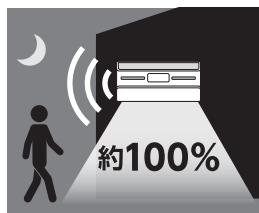
明るさの設定

明るさ切替

設置場所や用途に合わせて明るさ切り替えができます。

※常夜灯モード時は、人を検知して点灯(白色)するときの明るさのみ切り替えできます。常夜灯(緑色)の明るさは切り替えできません。

HI



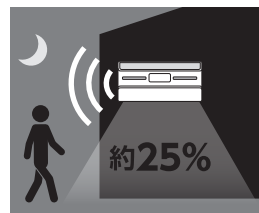
約100%の明るさで点灯

MID



約50%の明るさで点灯

LOW



約25%の明るさで点灯

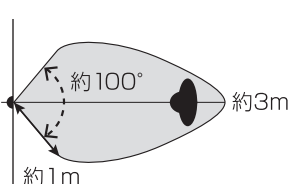
6 検知範囲について

検知範囲は目安です。気温、服装、移動速度、侵入方向、体温、設置場所などにより大きく変化します。

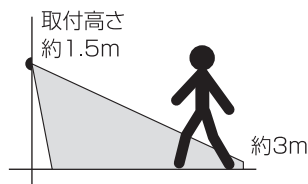
気温 : 25℃

④設置場所の「取り付け上のご注意」をご確認ください。

【平面図】 検知範囲を上から見た図



【側面図】 検知範囲を横から見た図



- 本体直下は検知できない場合があります。
- 検知範囲は、周囲の気温、明るさ、人の体温、服装、移動速度、設置する高さにより大きく変化します。特に夏場など人の体温と周囲の気温の差が少ない場合、冬場など人の肌の露出が少ない場合(防寒具など)は検知しにくくなります。
- 人以外で熱源となるもの(動物、空調機の風、暖房機の温風など)も検知します。特に強い熱源は検知範囲外でも検知することがあります。
- 人がいても動かない場合や、移動速度が極端に速い場合、または遅い場合は検知しないことがあります。
- センサーに対して直進方向の移動は検知しにくくなります。
- 以下のような場所に設置すると誤作動の原因となりますので設置場所を変更してください。
 - ・風などで揺れる植物やカーテン等の近く
 - ・エアコン等の送風を受ける所
 - ・光の反射を受ける所
 - ・ガラスや壁越しの所
 - ・強い振動を受ける所
 - ・取付高さが約1.5m以上の所
 - ・車の通る道路や人通りの多い所
 - ・電波の強い所

7 取付方法

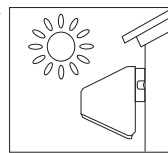
- ⚠️ 万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。
- 本体の設置(取り付け、取り外しなど)により生じた建物等への損傷やその他損害について、当社は一切責任を負いかねます。

本品は太陽光で発電します。日当たりが良い、最適な場所に取り付けてください。

取付ベースのシールは、本体の取り付け後にはがしてください。

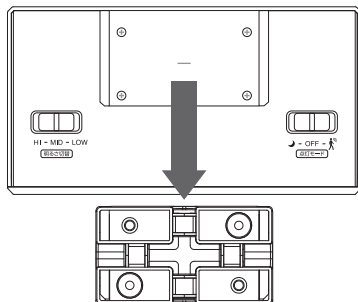
壁面に取り付け

- 直射日光が長い時間当たる南向きの壁面など
- 樹木やビルの陰にならないところ
- 地面に対して垂直な壁

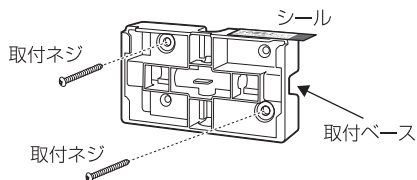


ネジでの取り付け

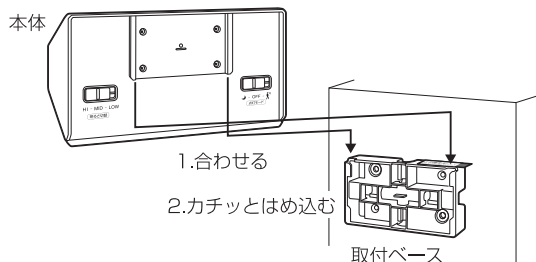
①取付ベースを矢印の方向にスライドさせて本体から取り外します。



②取付ベースのシールが貼ってある面を上にして、取付ベースを付属の取付ネジで固定します。



③本体背面の突起部と取付ベースの上部両端の凹みを合わせてから、本体を取付ベースにカチッと音がするまではめ込み、本体を取付ベースに確実に取り付けてください。

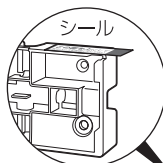
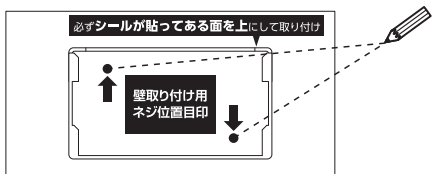


- 1.合わせる
- 2.カチッとのはめ込む

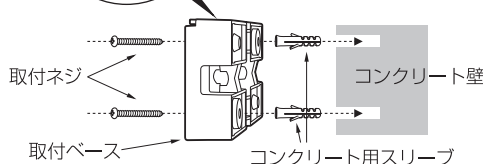
取付ベースをはめ込む際は指などを挟まないようご注意ください。

コンクリート壁への取り付け

付属の取付ガイドを使い取付ベースのネジ位置を決めて目印をつけます。



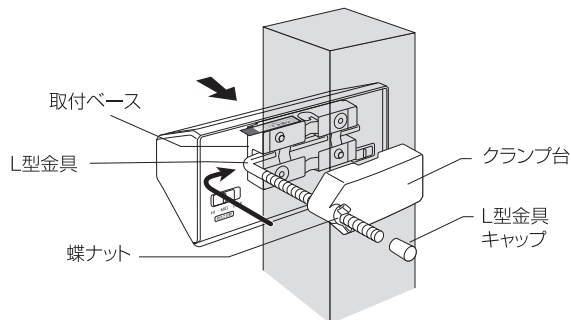
あらかじめドリルで直径6mm、深さ28mmの穴を開け、そこへ付属のコンクリート用スリーブを打ち込んでから、取付ベースのシールが貼ってある面を上にして、付属の取付ネジで取付ベースを固定してください。



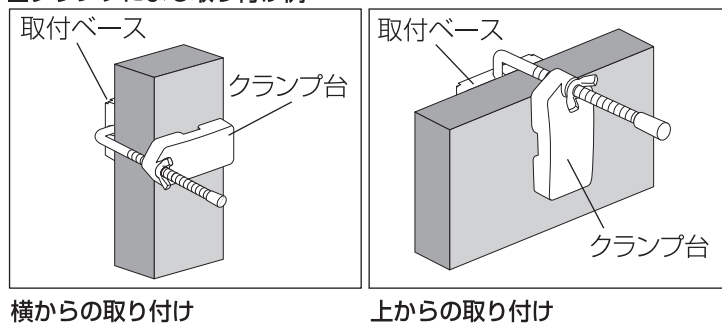
クランプでの取り付け

最小約10mmから最大約100mm幅まで取り付け可能

- ①取付ベースのシールが貼ってある面を上にして、取付ベースのL型金具通し穴にL型金具を差し込みます。
- ②L型金具にクランプ台を通し蝶ナットで締め付けます。
- ③L型金具の余った部分に付属のL型金具キャップをかぶせてください。



■クランプによる取り付け例

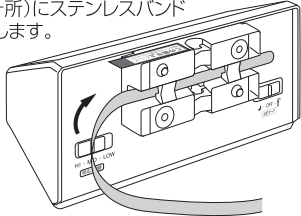


7 取付方法 (つづき)

別売ステンレスバンドによる取り付け (弊社型番ESL-SB)

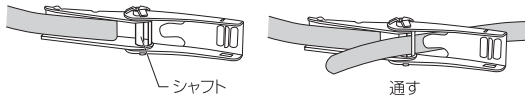
(直径約260mmまで取り付け可能)

①取付ベースのシールが貼ってある面を上にして、取付ベースのL型金具通し穴(上下または左右の2ヶ所)にステンレスバンドを通します。

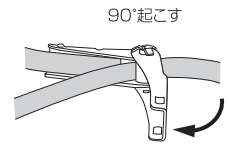


⚠ ステンレスバンドの構造上、一度締め付けるとゆるめることはできません。
※ケガをするおそれがありますので作業用手袋を必ず着用してください。

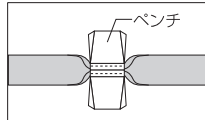
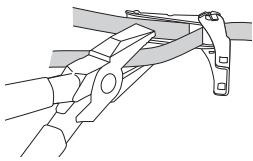
②バンドを取付箇所(ポールなど)に巻き付け、先端をシャフトの間(シャフトは2枚構成)に通して、バンドにたるみのない程度に張ります。



③ハンドルを90度起こして仮止めます。

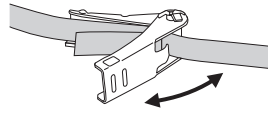


④仮止めができたら、バンドの余長をシャフトから3cm程度のところで切断します。バンド先端は外に出ません。



※図のようにペンチでバンドを2つ折りにし左右に振ると、切断しやすくなります。

⑤ハンドルを反復回転させます。(ラチェット機構なのでバンドを巻き取る)
※締めすぎると⑥の工程でハンドルが倒せなくなりますので、ご注意ください。



⑥ハンドルをベースに重なるまで倒して、ストッパーにかしめ込んで完了です。



8 廃棄時のお願い

- 本品にはニッケル水素充電電池を使用しています。ニッケル水素充電電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- ご使用済みの製品の廃棄に際しては、ニッケル水素充電電池を取り出し、各自治体の処理方法に従うか、リサイクル協力店にお持ちください。

充電電池の取り扱い・分解について

⚠ 危険

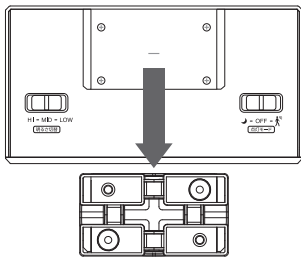
- 本品専用の充電電池です。本品以外に使用しないでください。
- 取り出した充電電池は充電しないでください。
- 火の中に捨てたり加熱したりしないでください。【液漏れ・発熱・破裂・発火の原因】
- 分解・修理・改造をしないでください。【液漏れ・発熱・破裂・発火の原因】
- 液漏れしたとき、液に触れないでください。目に入ったときは、こすらずに多量のきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。
- 直射日光の当たるところや暖房器具の側など高温になる場所で放置しないでください。【液漏れ・発熱・破裂・発火の原因】
- +、-端子に金属などを接触させないでください。また、金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。【液漏れ・発熱・破裂・発火の原因】

⚠ 警告

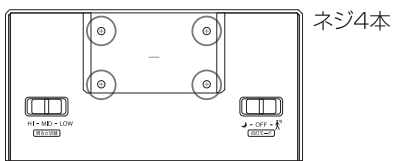
- 取り外したネジなどは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。万一飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師に相談してください。

ニッケル水素充電電池の取り出し方 ※廃棄する時以外は、絶対に分解しないでください。

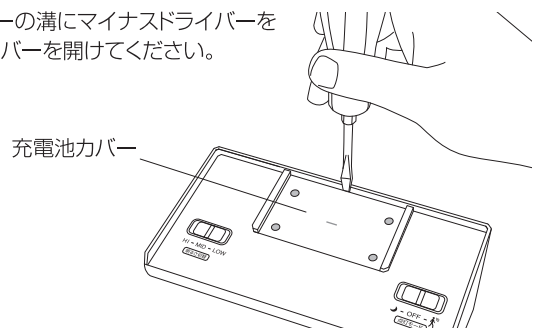
- ①本体の点灯モード切替スイッチをOFFにし、点灯しないことを確認します。
※点灯確認は周囲が暗い部屋などで行ってください。
- ②取付ベースを矢印の方向にスライドさせて本体から取り外します。



- ③プラスドライバーで本体背面のネジ(図の○部分)を外します。
※取り外したネジなどは、乳幼児の手の届く所に置かないでください。

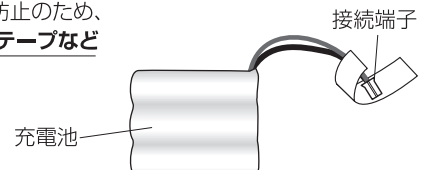


- ④充電電池カバーの溝にマイナスドライバーを差し込み、カバーを開けてください。



- ⑤充電電池を取り出し、本体コードのジャックから充電電池の接続端子を引き抜いてください。

- ⑥取り外した充電電池は短絡防止のため、**接続端子先端をセロハンテープなどで覆います。**



仕様

品番	ESL-KF500SL
電源 ※充電電池の交換はできません。	ニッケル水素充電電池 3.6V 1800mAh
点灯保持時間	約10秒(固定)
点灯開始照度	約10lx以下
保護等級	IP65 (耐塵形 / 防噴流形)
光源 ※LEDの交換はできません。	白色LED
全光束(満充電時)	全点灯時 約500lm
使用周囲温度範囲	-20℃～+40℃ ※電池の特性上、周囲温度が低い場合は、電池の性能が十分に発揮できない場合があります。
使用日数 ※1日10回点灯時 ※満充電時	センサーモード HI:約60日 / MID:約120日 / LOW:約240日 常夜灯モード HI:約4日 / MID:約8日 / LOW:約12日 ※使用条件により使用日数は短くなる場合があります。
外形寸法(約)	幅180×高さ96×奥行89(mm)(最大値)
質量	約115g(充電電池含む)
付属品	取付ネジ 2本(Φ4×30mm)、コンクリート用スリーブ 2本(Φ6×28mm)、クランプ 1セット、取付ガイド 1枚

※商品の特性上、明るさや光の色にバラつきが出る場合がありますので、ご了承ください。

※仕様及び外観・外装は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

※製造には万全を期しておりますが、万一不具合のあった場合は良品と交換いたします。それ以外の真はご容赦ください。

故障かなと思ったら

現象	考えられる原因	処置
ライトが点灯しない (センサーが反応しない)	充電電池の充電が不足している。	▶ 点灯モード切替スイッチをOFFにして初期充電(晴天2日以上)を行ってください。
	電源がOFFになっている。	▶ 点灯モード切替スイッチをセンサーモードまたは常夜灯モードに設定してください。
	電源が正しく供給されていない。	▶ 点灯モード切替スイッチをOFFにして初期充電(晴天2日以上)を行ってください。
	センサーに向かって直進している。 ※センサーの特性上、正面方向から近づいた場合は検知距離が極端に短くなります。	▶ センサーの検知範囲に対して、検知対象(人など)が横切るような場所へ取り付け。
	周囲が明るい。(夜でも周囲に他の照明器具がある)	▶ 他の照明器具の明かりが届かない場所へ取付場所を変更する。
	寒いときや雨降りの時で、人がマフラーや傘などで覆われている。 夏場など周囲の温度と人体の温度差が少ない。 非常にゆっくりとした速度で検知範囲に侵入している。	▶ 取付場所を変更する。 ※センサーは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合などは検知しにくくなる場合があります。
	検知範囲が遮られている。 ※ガラスや壁、塀越しには人の動きを検知できません。	▶ 取付場所を変更する。
	本体が正しく設置されていない。 ・高い位置に設置している ・低い位置に設置している ・傾けて設置している	▶ 本体は約1.5mの高さに垂直に設置してください。
ライトが点灯したまま消えない(センサーが反応し続ける)	▶ 何らかの物体にセンサーが反応し続けており、点灯時間が延長されライトが点灯したままになっている。	▶ 完全に検知範囲の外に出る。 ▶ 取付場所を変更する。
人がいないのに点灯する	検知範囲内、または周囲に下記のような誤動作をする要因がある。 (例) 風で揺れるもの(植木、洗濯物、旗など)、犬や猫などの動物、温風や冷風が吹き出すエアコン室外機、ガス給湯器からの熱気、強い無線ノイズ	▶ 誤動作要因となっているものを検知範囲内から取り除く。
	検知範囲が道路にかかっており、通行する自動車や人に反応している。	▶ 取付場所を変更する。
	風や車両の通行等により、本体を取り付けているフェンスなどが振動している。	▶ 振動の影響を受けない場所に取付場所を変更する。
ライトが点滅する (点いたり消えたりを繰り返す)	▶ 本体の発光方向に光を反射する障害物がある。 ※反射した光がセンサーに当たって誤動作する場合があります。	▶ 光を反射する障害物を取り除くか、取付場所を変更する。
ライトが点いてもすぐに消える	▶ 充電電池の充電が不足している。	▶ 点灯モード切替スイッチをOFFにして初期充電(晴天2日以上)を行ってください。